

第21回 牛乳紙パックで
『遊ぶ学ぶ』
コンクール2021

「気づき」の記録

「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」は、牛乳をはじめとする各種飲料用紙パックを素材とした工作の機会を提供することで、より多くの子どもたちに造形活動に楽しく取り組んでもらいたいと思っています。また、工作を通じて環境への思いやりを育みたいと、紙の循環や森林資源、地域や地球にやさしい行動など、気付いたこと、思ったことを感想文に書いてもらっています。

この記録は、2021年の佳作以上に入賞した30作品を制作した子ども達の感想文集です。



最優秀賞

『牛乳パック スケートボード』

岐阜県 小学6年生の作品



私は、東京2020オリンピックのスケートボードで同い年の女の子が活躍する姿を見て感動しました。インターネットでスケートボードについて調べてみると、デッキ部分が木でできていることを知りました。牛乳パックも木からできているのでスケートボードを作ってみようと思いました。苦労したのは、和紙を作るためにパックの表と内側を外し、中の紙を細かくちぎるところです。家族も本当のスケートボードみたいと言ってくれてがんばってよかったと思いました。私は、デッキにWishの文字をデザインにいました。オリンピックの女子スケートボードで、選手たちはライバルだけじゃなく成功したら喜びあって、失敗してもたえあう姿がとても素敵でした。この世の中がそういう社会になって欲しいと思っ望=Wishをいれました。子どもだからできないじゃなくて、私たちが環境や資源について学び、実行することで未来は守られると思います。大人になっても今の気持ちを忘れずに持ち続けられれば、牛乳パックコンクールを通して学んだことを忘れずに、これからも何でもゴミにするのではなく、大切な資源としてリサイクルできるよう資源の分別を心がけ実行します。

優秀賞

『エコ将棋セット』

兵庫県 小学4年生の作品

コロナ禍で家にいる時間が多い中、テレビで藤井聡太さんのニュースをみて将棋をやりたくなり、コマを牛乳パックの形にし、将棋盤も開閉式で閉じると大きな牛乳パックの形になります。そして、中にコマを収納できるようにしました。たくさんコマを作るのがむずかしかつたけど、兄妹で楽しく遊んでいます。お店に行けばどんなおもちゃも売っていてすぐ手に入るけど、自分たちで考えてつくすることで、大事に使うし、ゴミも減るし、いいことがいっぱいありました。牛乳パック形のコマはなんだかかわいくて、とってもお気に入りです。ルールを覚えられるようにコマのすすめる方向に点を入れてあります。



優秀賞

『コロナぼくめつ!アマビエ様』

神奈川県 小学5年生の作品

早くコロナをしょうそくさせるために、牛乳パックで「アマビエ」という妖怪をつくりました。むずかしかつたところは、アマビエのかみの毛をつくる時に、細く長く切ったところと、アマビエの目やうろこをたくさん牛乳パックのからから切りぬいて作ったところとです。アマビエはコロナが早くしょうそくするよう床の間にかざっています。ぼくの家ではお皿を洗う前に油などを布でふきとったり、おふろの残り湯で洗たくをしたりしています。また、ぼくの家では牛乳を毎週8本以上飲むため、牛乳パックは開いて洗ってほして必ずリサイクルできるようにしています。これからもそのような地球にやさしい活動を続けていきたいです。



全国牛乳パックの再利用を考える連絡会賞

『緑の広場に建つピサの斜塔』

大阪府 小学4年生の作品

ピサの斜塔は、1つの建物でなく、ドゥオモ（大聖堂）と対になっていて、斜塔は大聖堂の鐘の塔としての役わりがあることがわかりました。工夫した所は、ロマネスクという様式のふんい気が出せるように四角い牛にゆうパックにコンパスの針を使ってすじを入れて丸くし、切りぬきや重ね合わせて組み上げていきました。わたしは、買い物に行く時にエコパックを持っていったり、ゴミの分別くらいしかしていませんがお家や学校では、お花や木ぎを大切に育てています。緑ゆたかな学校や町であってほしいです。



日本乳業協会賞

『ぎふのオオサンショウウオ』

岐阜県 小学1年生の作品

ぎゅうにゆうパックのフィルムをめくるとのがたのしかった。えのぐをつかわずに、コーヒーでにてちやいろにそめるのをくふうした。くちとてがむずかしかつた。45ほんのパックをつかつた。のりやニスをつかうときも、パックをしいたり、カップにしてつかいました。キャンプでみつけたオオサンショウウオは、きれいなかわにしかいません。だから、きれいなかわをまもるために、ごみをださないようにしたい。これからも、ぎゅうにゆうパックをリサイクルしたいです。



全国小中学校環境教育研究会賞

『ルリビタキ』

大阪府 小学校6年生の作品

鳥の羽のように見えるように細く長く切って1本1本とリアルに見えるようにするのがむずかしかつた。止まっている状態をたもつのがむずかしく、バランスがとれなくて大変だつた。少しでも青とかつかえる牛乳パックがあればつかえるところを切つてはりつけました。使つた紙パックは十枚以上つかつています。家でのエコは、窓しめて、電気けして、と言われる前にすばやく動きエコさせられてます。末っ子のぼくのおしごと。クーラーの温度を1度2度上げてエコしています。外がすずしいときははまどをあけてすずしくしています。



全国牛乳容器環境協議会賞

『牛にゆうパックで作つたひまわり』

福岡県 小学2年生の作品

パックを小さく切つて二日間、水につけてミキサーにかけました。でもかたくて、ねん土のようになりませんでした。少しずつ水をふやしていくとドロドロになりました。ひまわりの形を作る時は花びらを上にむけたり、はの形をかえたりして、立体できるようにくふうしました。わたしのへやにかざりたいと思います。家ではゴミをすてる時はかんびん、ペットボトルプラスチック、生ゴミを分けて出しています。分けて出すとリサイクルできるし、ゴミのりょうをへらすことができます。牛にゆうパックも、トイレトペーパーやティッシュになります。ゴミもリサイクルしたら生かつてやくにたつものができることがよくわかりました。



『ふじさん』

神奈川県 小学1年生の作品

くふうしたところは、ふじさんのいろについて、したはあおいぎゅうにゆうパック、うえはしろいぎゅうにゆうパックをつかうしのえがらもはりつけて、こうげんのいめーじでつくりました。ぎゅうにゆうパックをえんをかきようにはりつけるのがむずかしかった。



『カブクワおうじゃ けっていせんリング』

神奈川県 小学1年生の作品

くふうしたところは、オリンピックのマークです。ロープをかみパックでつくるのとロープをリングにつけるのがむずかしかったです。クワガタとカブトムシをリングでかくとうさせました。つちがリングについてもふけばきれいになります。



『ロボット』

埼玉県 小学1年生の作品

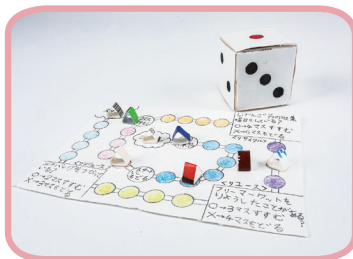
たてることをくふうした。てとあしをつけるのがむずかしかった。かみパックのかず、14コ小 18コ大まいにち、ぎゅうにゆうをのんでいるのでかわかしてリサイクルにだしています。



『エコすごろく』

大阪府 小学1年生の作品

くふうしたところは、すごろくのコマをサイコロの中にしめるようにしたこと、すごろくのかみのおもてとらに「3R」についてかいたことです。むずかしかったところは、かみをつくる時にやぶれないようにしたことです。かぞくですごろくをなん回もしてのしました。



『お花のぼうし』

神奈川県 小学2年生の作品

ぎゅうにゆうパック6本で、「お花のぼうし」をつくりました。白いめんをぼうしにして、がらのめんをお花にしてちがいを出しました。ポンドがなかなかくっつかなくてたいへんでした。お花をどうやってくっつけるかなやみましたがテープをつかっけてきれいに付けられたのでよかったです。



『牛ライオン』

埼玉県 小学2年生の作品

牛乳パックを5こつかいました。かおのパーツをおりこんで、くっつけるのが、むずかしかったです。たてがみと、しっぽを、たてのかみを丸くおってふわふわにしてくふうしました。サバンナでっぴにつかっけてあそびます。



『アマビエ』

埼玉県 小学2年生の作品

ぼくは、牛にゆうパックを5こつかい、アマビエを作りました。かみのけがはってもとれてしまうので、むずかしかったです。足をふくらませて、たてるようにくふうしました。ぼくの作った牛にゆうパックアマビエにコロナにならないようにおねがいしました。



『さくらの木』

埼玉県 小学2年生の作品

くふうしたところは、こまかくきってすみずみまではったところ。わくを作ったところ。むずかしかったところは、わく作りです。わくをはるところがむずかしかったです。つかった紙パックの数は、7まいです。おへやにかざりました。



『フラワーエコドレス』

京都府 小学2年生の作品

デザインを考えて、じ分のふくで形をとりました。そして、牛乳パックをはがしてうすくしてから、しかくに切ってつなげていきました。牛乳パックをお花の形に切るところが、むずかしかったので、おかあさんといっしょにつくりました。



『ミルクパックパーク』

岐阜県 小学2年生の作品

くふうしたところ・外がわの木と草をつけるところをくふうしました。どのようにつかったか・じぶんのゆめのこうえんをつくりました。牛にゆうパックを大きく切ったりほそく切ったりまげたりしてつかいました。



『マスクが選べるマスクケース』

鳥取県小学2年生の作品

マスクが多くなって、えらんでとるのがたいへんだから、マスクがえらべるマスクケースを作りました。牛にゆうパックを25こつかって、10日かかりました。きれいにはるのがむずかしかったです。



『カメのカゴ (こおらのフタつき)』

東京都 小学3年の作品

私はカメが大好きで、近くの亀戸天神や池でミドリガメが日光浴をしているのを見かけています。カメグッズをあつめているので、それをしまうハコがほしいと思い作りました。



『ペダルしきアルコールスタンド』

静岡県 小学3年生の作品

ぼくにぴったりの大きさのペダルしきアルコールスタンドを作りました。牛にゅうパックを41こつけてじょうぶにしました。ペダルのしくみをたくさんくふうしました。学校でみんなとつかいたいです。



『海を泳ぐ王者 モササウルス!』

大阪府 小学4年生の作品

口が動くように作る事や体の形を作るのがむずかしかったです。使った紙パックは11こです。工夫した所はモササウルスのかた目の黒目を牛の顔にして目がキラキラするようにしました。口をパクパクさせたり、おびれを動かしたり、青いジュウタンを海みたいにして泳いでいるみたいにして遊びました。



『お家でミルクパックバスケット』

岐阜県 小学4年生の作品

くふうした所は、ゴールにボールがはいるようにちょうせいした所です。むずかしかった所はボールをしっかり丸くする所です。使った紙パックの数は、25パックです。どのように作ったかは、ネットを本物みたいにほそくして作りました。ボールや板はこわれないようにかたくして作りました。



『甲冑 (かっちゅう)』

大阪府 小学4年生の作品

工夫したところは、着やすいように取り外しができるようにしたところと、牛乳パックの模様を全てそらえたところです。使った紙パックの数は約30まいです。



『紙激! 足つぼ&紙圧棒』

岐阜県 小学5年生の作品

むずかしかったところは、かわいた時にわれないようにしっかりと形をつくったことです。手で形をつくりながら、固くしぼることが大変でした。工夫したところは、自分の足の大きさに合わせたところです。使った紙パックは、30パックくらいです。



『ピクトグラム図鑑』

神奈川県 小学5年生の作品

のりではった時にはみでたのりがべとべとしないようにピンセットでとった所が工夫した所。細かい物をのりではりつけるのがむずかしかったです。使った紙パックは14まいです。



『2021年東京オリンピック』

埼玉県 小学5年生の作品

- 牛乳パック、約5本使いました。
- 切れ目を入れてはさんで組み立てました。
- 切れ目が細くてすぐたおれてしまったので、切れ目を太くするのがむずかしかったです。
- 国立競技場の周りに大きい木と小さい木を表現してみました。



『福福スリッパ』

大阪府 小学5年生の作品

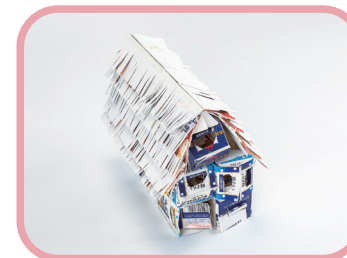
約三本の紙パックを使いました。主に脱臭効果があるコーヒーのパックを使いました。くふうしたところは、はきごち良いように中じきをしいたリデザインは漢字の「福」をみせるようにつくりました。あとかんたんにはいたときこわれないようわかをつくりよりがんじょうにつくりました。



『世界遺産 白川郷の合しょう造り』

岐阜県 小学6年生の作品

屋根は、牛乳パックに細く切り込みを入れて重ねて、かやぶきの屋根に見えるようにしました。たくさん重ねすぎると屋根が重くなって家がつぶれてしまったりして、やり直して大変でした。重ねた屋根が開いてしまうのでたこ糸を交ごに通しました。



『紙サマバッタ』

静岡県 小学6年生の作品

バッタの体の凹凸をさいげんした羽を動かせるようにした。バッタの頭の形をつくるのがむずかしかった。5パックを使った。



『ザ・コブラ』

埼玉県 小学6年生の作品

コブラのくねくねしている所はこまかく動くように小さなわかを使いました。使った紙パックの数は、7パックです。むずかしかったところは、コブラの体をまげて顔をつけることです。コブラのきばのところは1つずつつけるのではなく2つあるきばをつなげてつけました。

